

社会医学系専門医協会 ニュースレター2025 年秋号 コンテンツ

- 第 7 回社会医学系専門医認定試験報告
- 公衆衛生若手医師・医学生サマーセミナー報告
- 公衆衛生医師 WEB 合同相談会を開催報告
- 第 29 回 日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム 2025)報告
- 第 25 回社会医学サマーセミナー開催報告
- 第 57 回日本医学教育学会大会開催報告
- 84 回日本公衆衛生学会総会における『公募セッション企画』のご案内
- 公衆衛生ウィンターセミナー(PHWS)2025 開催のお知らせ
- 「第 36 回日本疫学会学術総会」開催案内
- 「第 30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会」開催案内
- 「第 96 回日本衛生学会学術総会」開催案内

【構成団体より】

第 7 回社会医学系専門医認定試験報告



専門医試験分科会 前分科会長 大神 明

第 7 回社会医学系専門医認定試験は、2025 年 9 月 6 日・7 日に昨年同様 Web 方式で実施され、受験者 81 名(資格 A:74 名、資格 B:7 名)が参加しました。内訳は行政・地域 31 名、産業・環境 37 名、医療 13 名でした。試験は 6 日に筆記試験(CBT 方式・1 時間)、7 日に Zoom による面接試験(資格 A10 分、資格 B30 分)とグループワーク(40 分)を組み合わせ、計 39 名の試験官により運営されました。ご担当いただいた先生方に心より御礼申し上げます。

筆記試験の平均点は 71.0 点(SD 7.8)で、最終的な合否判定の結果、合格 79 名、不合格 2 名(いずれも資格 A)となりました。

運営面では、資料配布リンクの期限切れ、Zoom 接続の不具合、資料未着などの課題が一部発生しましたが、代替対応により大きな混乱なく終了しました。今後の改善点としては、試験官向け案内の整理、受験者への Zoom 会場情報の事前提示、グループワーク課題提示や情報共有方法の明確化、実施中の AI ツール利用可否の指針策定などが挙げられます。

第8回試験は2026年9月に予定されており、受験者数の動向を踏まえ方式を検討する予定です。

改めて、問題作成・運営にご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げますとともに、新たに専門医となられた皆様のご活躍と社会医学への貢献を心より祈念いたします。

PHSS2025(サマーセミナー)

開催：2025年8月23日(土)、24日(日)・東京

公衆衛生

若手医師・医学生サマーセミナー

参加費
無料

Public Health Summer Seminar
PHSS 2025



交流のチャンス！
全国の参加者と講師・スタッフ
で作る、充実の2日間。

2025.8.23^{SAT} - 24^{SUN}

ビジョンセンター東京八重洲

〒103-0027 東京都中央区 本町2-5-4 | 日本橋グザビル9F

この夏、
医師キャリアの
多様性を
探りに行こう。

対象 公衆衛生に関心のある医学生・医師・
若手公衆衛生医師

受付 定員 60人 (先着順)
開始 6/7 ▶ 締切 7/18

全国保健所長会 PHSS 2025

→ 申込は
こちら



DAY 1 専門医制度と公衆衛生活動

- 公衆衛生医師のキャリアと社会医学系専門医制度
宮岡哲哉先生：大阪府岸和田保健所
- 公衆衛生好きが熱く！語る 公衆衛生活動の魅力
齋藤 陽子先生：熊本県阿蘇保健所

DAY 2 公衆衛生医師の多様な働き方

- 若手パワー！トーク：若手公衆衛生医師の日常
岡地智大先生：東京都健康・安全研究センター
安達優典先生：新潟県保健所
田口哲人先生：北海道保健所
宇野香川先生：名古屋保健センター
- NPO/行政/臨床の3方向から取り組む公衆衛生活動
守本院一先生：(一社)ケアと暮らしの福祉社/公サハ元病院

主催：全国保健所長会／一般財団法人日本公衆衛生協会
 令和7年度 地域保健総合推進事業
 公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業
 分担費受取者 宮岡哲哉（大阪府岸和田保健所）

運営委員長 松澤 知（新潟県福祉保健部/佐渡保健所）
 事務局 一般財団法人 日本公衆衛生協会
 〒160-0022 東京都新宿区新橋 1-29-8 （若井・辻）
 ☎ 03-3352-4284 Mail: entry.phcd@gmail.com



公衆衛生医師 WEB 合同相談会を開催しました。

PHCC(Public Health Career Counseling)2025

日時:令和 7 年(2025 年)9 月 20 日(土)

13 時~16 時

会場: Zoom でのオンライン会議形式

対象: 公衆衛生に関心のある医師・医学生

参加費: 無料

定員:50 名

内容: 保健所医師・医系技官によるパネルディスカッション、勤務希望地域の現役公衆衛生医師による
キャリア相談等

定員
先着50名
まで

参加費
無料

とびら。
未来への
ひらけ、

公衆衛生医師 WEB合同相談会 2025

全国の自治体で働く公衆衛生医師・
厚生労働省医系技官が集まる相談会

WEB開催 令和7年9月20日(土) 13:00-16:00

第1部 パネルディスカッション 60分
パネリスト1: 厚生労働省 医系技官
パネリスト2: 保健所医師 (県型)
パネリスト3: 保健所医師 (市区型)

第2部 地域別相談会 60分
個別相談会 30分 (希望者)

受付開始 7/1(火) 締め切り 8/31(日)
申込みはこちら→ 

全国保健所長会 合同相談会 PHCC 2025

主催 全国保健所長会/日本公衆衛生協会
令和7年度 地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」
分担事業者 宮園将哉 (大阪府岸和田保健所)

運営委員長 山本信太郎 (福岡市保健所)
事務局 一般財団法人 日本公衆衛生協会 若井・辻
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
☎ 03-3352-4284 ✉ entry.phcd@gmail.com

第 29 回日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム 2025 in 仙台)開催報告

大会長 大佐賀 敦

(東北医科薬科大学医学部医療情報学教室/東北医科薬科大学医療情報センター)



第 29 回日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム 2025 in 仙台)を 2025 年 7 月 3 日(木)～5 日(土)の 3 日間、宮城県仙台市の仙台国際センター展示棟および青葉山公園仙臺緑彩館にて開催いたしました。大会テーマは「医療現場を支え続ける情報システム ～これまでも、これから～」とし、現地参加を基本としつつ、主要 3 会場のライブ配信も実施しました。参加者は 1900 名を超え、多くのご参加を得て盛会のうちに終了いたしました。

東北地区での 10 年ぶりの開催にあたり、特別講演では、東北メディカル・メガバンク機構の荻島創一先生に「大規模ゲノムコホート研究と医療情報の利活用 ～東北メディカル・メガバンク計画の進捗～」と題してご講演いただき、震災後の地域医療再建と医療情報基盤整備の成果と展望についてご紹介いただきました。



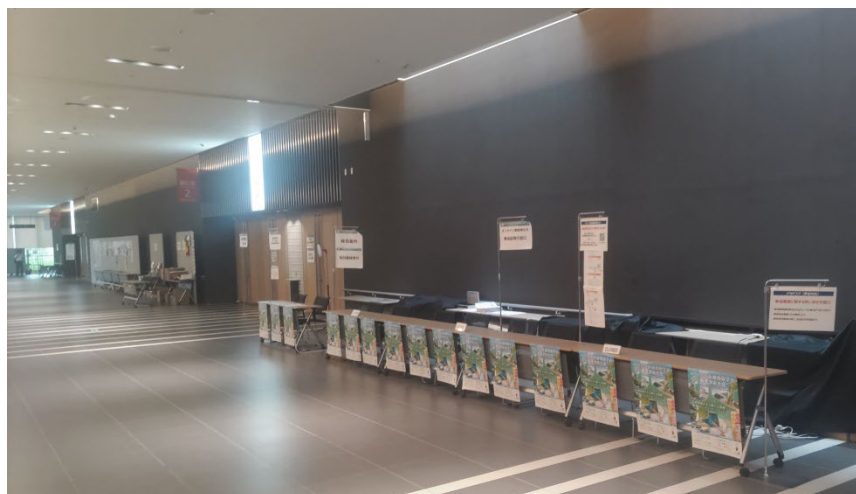
本学会の大きな特徴として、医療情報の研究者のほか、医療機関や企業での実務者も多数参加しており、実務者にも有益となるよう、大会企画では、「サイバーセキュリティ人材育成の最前線 ～厚生労働科学研究武田班報告より～」、「AI とロボットが変革する医療現場 ～病院 DX の課題と未来～」、「見えないものを見えるものに ～医療・創薬 AI の進化に向

けた取り組み～」、「ついに始まる電子カルテ情報共有サービス」の 4 つを企画しました。いずれも第一線でご活躍の先生方にご講演いただき、有意義な情報交換が行われました。



一般演題では、今大会より口演発表を希望される方には、英文での詳細抄録の執筆を推奨しており、英語での詳細抄録も見られ、興味深い視点に根ざした充実した発表と活発な討論が行われました。

今回、予想を超える多くの皆様にご参加いただき、行き届かない点多々あったことをお詫びいたしますとともに、セッション企画・座長をお務めいただきました先生方、ご講演い



ただきました皆様、プログラム委員、実行委員、運営会社の皆様、企業協賛、大会にご協力いただきました皆様、そして、本大会にご参加いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。



なお、第45回医療情報学連合大会(第26回日本医療情報学会学術大会)(山下芳範大会長(福井大学))が2025年11月12日(水)～15日(土)までアクリエひめじで開催されます。また、第30回日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム2026宇都宮)(今井健大会長(東京大学))は2026年6月11日(木)～13日(土)まで、ライトキューブ宇都宮で開催されますので、皆様、奮ってご参加ください。

第 25 回社会医学サマーセミナーのご報告



杉山雄大

筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野 特任教授
国立健康危機管理研究機構システム基盤整備局医療 DX 部 部長
社会医学系専門医協会 幹事

第 25 回社会医学サマーセミナーが、2025 年 9 月 13 日から
14 日まで筑波大学にて開催されましたのでご報告いたします。

社会医学サマーセミナーは、これまで全国衛生学公衆衛生学教育協議会(教育協議会)が主催してきた、医学生向けの社会医学に関する合宿形式の勉強会です。大学の衛生学・公衆衛生学の教室が 1 年ごとに担当の世話人となります。このサマーセミナーが、今回より社会医学系専門医協会(当協会)と合同で主催という形を取ることにになりました。筑波大学医学医療系の田宮菜奈子教授、岩上将夫教授、そして私の 3 名が世話人となり、若手教員や大学院生(全員が社会医学系専門医・指導医または専攻医)とともに事務局を構成して準備を進めました。

開催の前々日に関東で集中豪雨が発生し、多くの交通機関がストップするなど荒れ模様の天候で、当日の天気や交通手段が心配されましたが、結果的に二日間とも過ごしやすい秋晴れの天気で、安全に開催することができました。全国より 27 名の医学生が参加しました。

教育協議会の中山健夫代表世話人(当協会理事)、当協会の前田光哉業務執行理事、世話人の岩上教授の挨拶から始まり、2 日間を通じて 7 つの社会医学に関する講義と 2 つのワークショップを通じて学びました。1 日目夜には懇親会が行われ、大いに盛り上がりしました。2 日目の昼には、パンの街つくばを紹介するため、つくば市自慢のパンを皆さんにご賞味いただきました。次年度世話人の弘前大学 吉田一隆先生、平田幸輝先生からご講評をいただき、最後に世話人の田宮教授より閉会の挨拶をもって締めくくられました。

参加者の皆さんはとても満足され、学生同士や参加した教員と連絡先を交換して帰途につかれました。ある学生が帰り際に「社会医学系専門医と社会医学の PhD の取得を目指します」と言ってくれたのが嬉しかったです。

今回、初めて教育協議会と当協会との合同主催となり、調整が必要な点もありましたが、両者の合同主催による資金面での安心感が大きく、全国からの医学生を気持ちよくおもてなしできたと思います。至らぬ点多々あったかと思いますが、ご参加いただいた先生方と、社会医学への関心が非常に高い医学生たちに助けられ、成功裡に閉会を迎えることができました。ご協力いただきました講師の先生方、教育協議会ならびに当協会の皆様、筑波大学の皆様、誠にありがとうございました。

第 57 回日本医学教育学会大会(秋田大会)開催報告

[\(https://www.congre.co.jp/jsme57/\)](https://www.congre.co.jp/jsme57/)

大会は、「デジタル教育の新たなステージ — 思いやりと理想的チームビルディングを育む秋田からの発信 —」をテーマに、秋田宣言 2025 のもとで開催されました。主催は、秋田大学医学部・秋田大学関連病院協議会(県内 55 病院)。大会長:羽瀧友則、実行委員長:長谷川仁志、実行委員:及川沙耶佳。2025 年 7 月 25 日~27 日の 3 日間、秋田市内 4 会場(あきた芸術劇場ミルハス他)で行われ、参加登録者は 1,641 名でした。



大会では、卒前教育から臨床研修、生涯教育、多職種連携、さらには医療専門職以外の患者・市民を含む Trans professional Education(TPE)まで、生成 AI を含めたこれからのデジタル活用教育の充実をはじめ様々な視点から医療の質向上に資する最新の知見が共有されました。演題数は 433(特別企画 9、一般口演 190、e ポスター 218 など)と大会史上最多を記録し、14 列の同時進行で活発な議論が展開されました。

新たな試みとして、①学会期間を 3 日間に延長し、②総会をオンライン化、③オープニングセレモニーを新設、④e ポスター全面導入とオンライン配信拡充、⑤予稿集 PDF 化、⑥AI 翻訳による字幕対応などを実施。さらに、AMEE(Association for Medical Education in Europe)との初の連携企画ではハーバード大学 Subha Ramani 先生を迎えたほか、海外演者にも多くご参加いただき大会の国際化を大きく前進しました。また、学生によるセッションが充実し、全国の医学生が「教育者としての医師の在り方」ほかをテーマに登壇。最終日には市民 650 名が参加する公開講座が開かれ、生成 AI を活用した医療情報活用やチーム医療教育の可能性を探りました。メイヨークリニックの Rosenman 先生は「デジタル化が進む時代だからこそ、人間性と思いやりの教育をこれまで以上に重視している」と述べ、参加者に深い感銘を与えました。

関係者の皆様、参加いただいたすべての皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

羽瀧友則大会長

オープニングセレモニー:

(大会 1 日目 7 月 25 日(金)14時~16 時)

主催者挨拶、ご来賓挨拶、国内・海外招待演者紹介、次回大会長挨拶、大会長講演、実行



委員長講演、理事長講演、APMEC 理事長ビデオメッセージ、第 1 回 AMEE-JSME 連携企画招請講演が行われた。



ハーバード大学 Subha Ramani 先生によるワークショップ: Effective teaching in the clinical environment: Tips for clinical teachers

「医学生とともに考える理想的チームビルディングのための卒前・卒後・生涯教育シンポジウム」における学生セッション皆さんとアドバイザーの先生たち



<開催案内>

84 回日本公衆衛生学会総会における

『公募セッション企画』

<https://plaza.umin.ac.jp/~jsph84/session/index.html>

セッション種別: シンポジウム S-133

日時: 2025年10月31日(金) 10:30~12:00

場所: グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)予定
 (静岡市駿河区東静岡2丁目3-1)

企画名: 「社会医学系専門医制度をいかに医療制度に
 組み込むか？」

開催形式: 現地開催

企画内容:

我々、社会医学系専門医協会では、これまで社会医学系領域の医師の確保・育成を行ってきた。その成果の一つとして、昨年、医師調査で「公衆衛生業務」と「社会医学系専門医」が認められ、「社会医学系専門医」が本邦の医療制度の中で活躍する枠組みが構築されつつある。

一方、臨床医学系では「シームレスな医学部・研修医・専門医の教育」が構成されているが、公衆衛生・社会医学領域では今後の課題である。社会医学系領域の医師の確保・育成のためには、臨床医学領域の専門医確保・育成と比較して、どのような課題が残されており、また、今後どのような施策で解決可能なのか？

本シンポジウムでは、社会医学系専門医制度の次の目標を設定するにあたり、現在ある課題とその解決施策を模索する。

テーマ: 「社会医学系専門医制度をいかに医療制度に組み込むか？」

座長

和田裕雄(社会医学系専門医協会理事・順天堂大学)

シンポジスト

- 松本晴樹先生(文部科学省 高等教育局医学教育課 企画官)
- 「シームレスな医学教育からみた社会医学領域の医師の確保・育成における課題(仮題)」
- 西嶋康浩先生(厚生労働省地域医療計画課長)
 「地域医療体制確保の観点から考える」
- 荒木裕人先生(厚生労働省厚生科学課長)
 「健康危機管理の視点からの社会医学領域の医師の確保・育成の可能性について」
- 入江ふじこ先生(茨城県保健医療部)
 「地域保健における社会医学領域の医師の確保・育成の課題」

特別発言

今中雄一 (社会医学系専門医協会理事長・京都大学)



【構成団体より】

<開催案内>

公衆衛生ウィンターセミナー(PHWS) 2025 開催のお知らせ

全国保健所長会では、地域保健総合推進事業「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」の一環として 2022 年から社会医学系専門医研修の専攻医をメインターゲットとしたオンラインセミナーを開催しています。

全国各地からオンラインでつながり、仲間や講師とともに研修プログラムや公衆衛生活動を学び、語り合い、交流を深めることができます。「行政」分野の専攻医の先生向けの内容となっていますが、大学院生や「産業・環境」「医療」分野の先生、これから公衆衛生医師への転職を予定している先生や公衆衛生医師に興味のある学生さんもお参加いただけます。

当事業では、オンライン開催のウィンターセミナーだけでなく、対面開催のサマーセミナーも毎年開催しています。これら各種セミナー・研修会等の情報は、全国保健所長会ホームページの「セミナー・研修会等」(https://www.phcd.jp/02/j_seminar/)、ブログ(<https://blog.canpan.info/phdr/>)、YouTube「公衆衛生医師チャンネル」(<https://www.youtube.com/@PHCDjapan>) 等でご確認いただけます。

全国的なネットワークづくり、情報交換、公衆衛生医師のおもしろさ・やりがいを発見する機会としてお役立てください。



PUBLIC HEALTH
 公衆衛生ウィンターセミナー
WINTER SEMINAR 2025
2025.12.6 (土) 14:00→17:00
 対象：社会医学系専攻医・公衆衛生医師・医学生 方式：オンライン

公衆衛生医師の
輪を
一緒につくろう

01 専門医試験と ライフプラン 社会医学系専門医研修 と保健所長 講師： 郡司真理子 郡山市保健所	02 災害発生時の 保健所の役割 日常の延長線上にある 災害時対応 講師： 服部希世子 熊本県有明保健所 兼 山形保健所	03 グループ発表 ・質疑・講評 04 オンライン懇親会 (希望者)
--	---	---

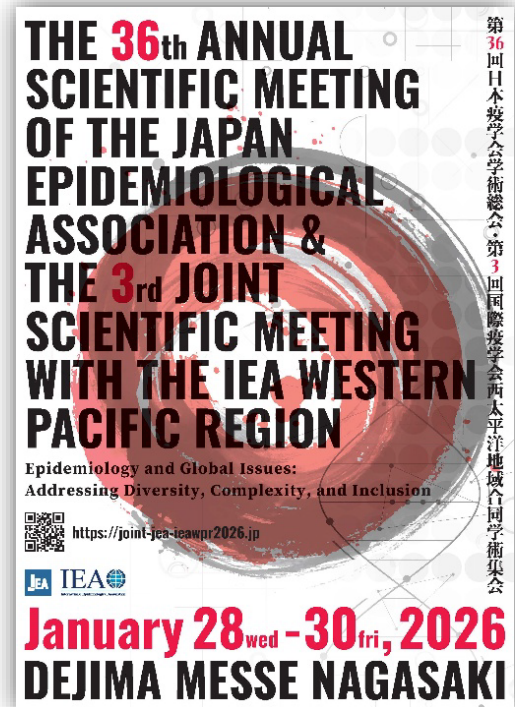
主催 全国保健所長会/日本公衆衛生協会
 令和7年度「地域保健総合推進事業」
 公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業
 分担事業者 京畿府会（大田府中保健所）
 運営委員長 堀切 将（福島県南保健所）

事務局 一般社団法人 日本公衆衛生協会
 若井 達
 〒140-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
 ☎ 03-3352-4284
 Email: entry.phcd@gmail.com

参加申込 締切 11/21

<開催案内>

第 36 回日本疫学会学術総会
2026 年 1 月 28 日(水)～30 日(金)



第 36 回日本疫学会学術総会・第 3 回国際疫学会西太平洋地域合同学術集会

ホームページ: <https://joint-jea-ieawpr2026.jp/>

会 期: 2026 年 1 月 28 日(水)～30 日(金)

会 場: 出島メッセ長崎

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町 4-1 (JR 長崎駅西口直結)

メインテーマ: Epidemiology and Global Issues: Addressing Diversity, Complexity, and Inclusion

大会長: 金子 聡 (長崎大学熱帯医学研究所生態疫学分野 教授)

事務局長: 加賀谷 渉 (長崎大学熱帯医学研究所生態疫学分野 助教)

E-mail: jea2026@tm.nagasaki-u.ac.jp

運営事務局: 株式会社コンベンションリンケージ 長崎支社

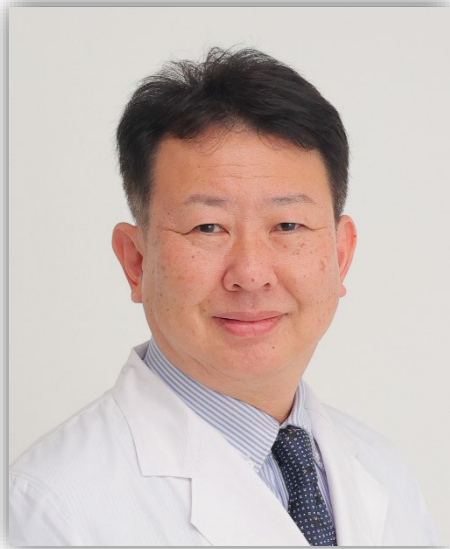
〒850-0057 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8 階

TEL: 095-825-1955 FAX: 095-825-1956

E-mail: jea2026@c-linkage.co.jp

<開催案内>

30 回日本災害医学会総会・学術集会 記念大会



会 長：高橋 昌 新潟大学大学院歯学総合研究科医学・医療人育成分野 特任教授

会 期：2026年3月19日(木)～21日(土)

会 場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島 6-1

テ ー マ：「災害を科学する ～ 経験を科学に 新潟&熊本から発信」

<開催案内>

第 96 回日本衛生学会学術総会



<https://web.apollon.nta.co.jp/jsh2026/>

会 期 : 2026 年 3 月 19 日(木)~21 日(土)

会 場 : 栃木県総合文化センター(〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8)

テ ー マ : 繋ぐ ~総合知で人の生をまもる~

会 長 : 小橋 元(獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座 教授)

大会事務局: 獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座

(〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880)

E-mail: jsh96@dokkyomed.ac.jp

運営事務局: 株式会社 プランドゥ・ジャパン

(〒105-0012 東京都港区芝大門 2-3-6 大門アーバニスト 401)

TEL: 03-5470-4401

E-mail: jsh2026@nta.co.jp

<社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ>

【講習会について】

単位取得可能な講習会情報を下記のページに掲載しております。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/seminar/>

各講習会に関するお問い合わせは、掲載しております問合せ先にご連絡ください。

<更新に関するお問い合わせ>

件名:2025 年度更新について

【社会医学系専門医・指導医 認定更新に関して】

『2025 年度版』専門医・指導医の更新について(更新手続き・今後のスケジュールのご案内)が公開されております。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/koushin/>

- ※ 専 18-及び指 18-から始まる認定番号をお持ちの先生方は、今年度が更新申請の最終期限となります。11月30日が提出締め切りとなりますので、ご注意ください。
- ※ 専 19-及び指 19-から始まる認定番号をお持ちの先生方は、今年度が3回目の延長申請となります。今年度延長申請いただいた場合、来年度が更新申請の最終期限となりますので、ご注意ください。
- ※ 更新申請に関するお問い合わせはメールのみで受付しております。返信までお時間いただく場合もございますので、お時間に余裕をもってお問い合わせください。
- ※お電話でのお問い合わせは一切受付いたしかねますので、ご容赦ください。

【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、会員専用ページよりご変更ください。

下記 URL 上部「会員マイページログイン」のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

※会員専用ページへのログインにはログイン ID(会員番号)/パスワードが必要となります。

※パスワードがご不明な場合は、「パスワード問い合わせ」からお問合せください。

※ログイン ID(会員番号)は、年間登録料の請求書摘要欄に記載がございます。

上記ご不明な場合は、下記の要領にて協会事務局(jbphsm@asas-mail.jp)までご連絡ください。

<ログイン ID/PW に関するお問い合わせ>

件 名 : 社会医学系専門医協会:ログイン ID 照会(会員ページログインのため)

①氏名

②ご所属先

③生年月日(19XX/●●/△△)

年間登録料領収書の発行をご希望の際は下記記載事項をご記載の上、ご自身にてご作成の上、「切手貼付の返信用封筒」を同封の上、事務局までお送りください。

押印の上、ご返送させていただきます。

【記載事項】

- ・会員様のお名前
- ・会員番号
- ・お支払いいただいた金額
- ・何年度分の年会費

※年間登録料につきましては不課税となっております。

※請求書:お送りしております払込票付請求書とは別の請求書(所定のもの、口座記載のもの、公印押印済のもの等)が必要な場合は上記内容をご記載の上、ご依頼ください。

【登録情報変更に関する問い合わせ、請求書、領収書発行依頼先】

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail: jbphsm@asas-mail.jp

FAX: 03-5981-6012